

平成25年度 事業報告書

平成25年1月 1日から 平成25年 12月 31日まで

認定特定非営利活動法人 アジア教育友好協会

1 事業の概況

平成25年度は、前年度繰越金16,805千円、及び日本財団助成金78,000千円の入金を受けて、事業を開始しました。

事業資金は期初予算を大幅に上回り、AEFA独自でも77,140千円確保できました。学校選定を慎重に進め、24校の建設を決定し事業推進しました。しかしベトナム建設校の一部に変更が生じたため、年度内に完成したのは18校となりました。残り6校は現在建設が進行中です。2005年の事業開始以来9年間で、通算建設数は建設中を含め173校となりました。2010年に開始した教師養成奨学金制度が軌道に乗り、今年度はラオスでAEFAが建設した学校の卒業生3名が出身村の学校の先生として赴任するという画期的な成果が上がりました。その他、校舎修繕・フォローアップ事業も定着化しつつあります。

また、日越友好年（国交樹立40周年）記念事業として、ベトナムにおける小学校建設事業6件及び両国児童による共同作品制作事業1件、合計7件が日本国外務省より認定され、実施しました。

姉妹校提携推進事業は、日本の小学校44校とのフレンドシップ交流を中心に活発に展開されました。事業開始以来、累計では全国で延べ92校との交流を推進したことになります。なお本年度は東京都教育委員会推薦の出前授業が活発化し、交流校以外での出前授業が18校で実施されました。

支援者参加型プロジェクト（建設計画及び成果の共有化）の推進がAEFAへの信頼性を強化するとともに、AEFA事業の独自性・革新性が大きく評価されています。その結果、新規支援・継続支援をして下さる団体、企業、個人も増え、支援額は創業以来の記録を大幅後更新し、77,140千円となりました。

エルセラ化粧品（株）25,000千円、（株）オーイズミ5,000千円、（株）菊岡夫婦社4,500千円など新規の大口ドナーに加え、ダイリキ（株）、議員の会、ディアーズ・ブレイン、アースバンク倶楽部、国際学校建設支援協会、など団体や企業の支援が継続されました。また、廣部武、内田安子、中西重敏、津金睦子の諸氏ほか、多くの個人が支援を継続して下さるとともに、新たに高山秀子氏などの大口支援もありました。

なお、会員数は会費納入会員174名（未納・休眠会員約40名含まず）、会費収入は1,096千円に止まり、会員の輪の拡大に課題を残しています。この課題解決への取組みとして、3月に第一回会員の集いを開催。支援者でもある坂東眞理子氏を迎え、講演会と、約100名の会員同士の交流を深めました。

日本の交流校でも交流が定着・進化し、支援も徐々に広がっています。日本の子どもたちからの支援金（小中学校・11校から）は821千円となりました。

また、ワンコインスクール・プロジェクトは、昨年に引き続き福島県いわき市で継続されると共に、新たに静岡県袋井市と東京都武蔵村山市でも始まりました。入金額は、いわき市（977千円）、袋井市（3,217千円）、武蔵村山市（315千円）となり、今後の発展が期待されます。

2 事業の成果

1) 学校建設事業について：事業費＝121,424千円＝24校

ベトナムにおける日本財団助成での建設はクアンナム省山岳地帯を中心に11校、他に議員の会、エルセラー化粧品㈱、アースバンク倶楽部などの支援で6校の建設が進みました。ラオスもAEFAの理念に共感する支援者（ダイリキ、イートアンドなど）の寄付が集まり、6校の建設となりました。また、タイでは福島県いわき市の中学校によるワンコインスクールが1校建設完了しました。

本年度も、小中学校の校舎建設だけでなく、幼稚園・寄宿舎・台所食堂の建設を推進することで、地域全体の一層のまとまりが進み、教育環境の向上に寄与してきました。

また、校舎を修繕するフォローアップ事業を継続・推進しました。建設後5年以上経過した学校を中心に補修作業をしました。この時期に手を入れることで、老朽化防止を図るとともに、自分達の学校を自分達で大切に維持するという住民の意識向上にもつながります。建設後の学校を継続して見守っていくAEFAの方針からも、この建物修繕のフォローアップ事業には、今後とも取り組んでいきます。

建設事業はAEFA事業開始以来、順調に進展し結果として、累計ではベトナム120校、ラオス43校、タイ8校、中国2校の総合計173校となりました。 *2013年度建設校一覧・別紙(1)

2) 姉妹校（フレンドシップ校）提携推進事業について：事業費＝8,055千円

(1) 日本の学校とのフレンドシップ交流の進化

本年度は44校の学校が活発な交流を行いました。5年以上継続している日本の交流校も19校あります。子供たちの交流だけでなく、先生方の研修にもアジアとの交流活動が取り入れられ、全校単位で交流を継続する工夫をしている学校もありました。

- ① 1月には、安倍総理ベトナム出張の折、フートゥーC小学校の子どもたちを招待して夕食会が開催されました。総理にも参加頂き鯉のぼり交流が行われました。2月には総理夫人にいわき市に出張して頂き、小中学校との交流行事が行われました。国際交流授業の推進やワンコインスクール活動にも大きな推進力となりました。
- ② 福島県いわき市の中学校44校がタイ北部山岳地域のファイコン中学校を建設するワンコインスクールプロジェクトが継続されました。『がんばりカード』を使つての取組みや、『Tシャツ』を作つて販売する学校もあります。この活動は、いわき市の中学生が感謝の気持ちと復興への決意を発信するとともに、中学生の団結力も増すということで2014年度も継続されます。

(2) 国際理解教育への貢献事業

- ① 12月24日：第1回・AEFA福井フォーラムを福井県坂井市城の子会館・大会議室にて開催 県内13の小中学校から教師43名、地域の関係者5名、AEFA3名の合計51名が参加しました。
- ② 12月26日：第8回・AEFAフォーラムを日本財団・会議室にて開催 東京都内を中心に、教師・教育専門家など24名で活発な討論と授業作り作業が行われました。
- ③ 本年度は出前授業を51回実施。通算262回となり、交流事業の充実には著しいものがあります。

(3) 教師の養成及び質の向上支援事業

- ① ラオスにおける奨学金と研修会：
今年度の教師養成奨学金は20名、うち3名が卒業し出身村の教師として赴任しました。
- ② タイにおける国際的取組み：
日本財団との共同事業として、カンボジアの師範学校卒業生（10名）と教授など関係者（5名）がファイコン小中学校での合宿研修及びソプワク小学校での研修を行いました。

3) 広報活動について

今年度は、AEFA会報を3回（15, 16, 17号）発行。ホームページの全面的更新をしました。また、2014年のAEFA10周年記念事業に備えて、「ドナー物語」の制作に着手しました。支援者のみでなく、学校関

係者やAEFA会員・関係者の方にドナーの方々との関わり方や思い、現場の先生方の様子、現地の実情を知って頂く資料にもなると確信します。AEFAブログもこまめに更新するとともに、メーリングリストで会員の方への情報提供も頻繁に行いました。

2013年のホームページのアクセス数は、48,000件を超えました。支援を検討する方にとって、情報収集の大事なツールとなっております。現実に支援者の方は全員がホームページを見た上で支援を考えたコメントしています。

今年度も広報活動を積極的に進めました。その結果、日本の新聞／16回、テレビ／1回（フジ）、海外テレビ／2回（ベトナム）、海外新聞／2回（ベトナム）、AEFAの活動が紹介されました。

3 事業の実施に関する事項

当期収入額 155,283千円＝日本財団78,000＋AEFA友の会77,140＋その他143
 当期支出額 138,577千円＝建設事業費121,424＋交流事業費8,055＋管理費9,098
 当期収支残 16,706千円＝現在建設中（2014年度建設予定）4校の建設費に充当される予定です。

<対事業支出額内訳>

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (単位：千円)
学校建設事業	<学校建設> ベトナム・ラオス・タイ山岳極貧地域の学校建設 <地域自立支援> 上記学校建設地域の学校維持を主旨とした生活力向上の為の支援 <教師育成事業> 奨学金事業及び研修会	2013. 1. 1～ 2013. 12. 31	3カ国 24校	6名	建設地域の住民およびその子弟。 生徒数： 1校平均100名程度 ＝合計 2400名 教師数：120名 奨学金＝20名 研修会＝50名	121,424
日本の学校との姉妹校提携推進事業	①現地建設校と日本の学校との教育関係者同志の交流、児童の作品交換などを通じての姉妹校提携推進 ②出前授業：福井県／福島県／岡山県など約20回。東京都武蔵村山市ほか都内約30回 ③東京フォーラム ④福井フォーラム	2013. 1. 1～ 2013. 12. 31 2013. 7月 2013. 10-11月 2013. 12月 2013. 12. 26 2013. 12. 24	3カ国 44校 各地域 日本財団 丸岡町会館	8名 10名	現地1校当たり 100名程度 日本1校当たり 100名程度 各回：約100名 合計：約5000名 教育関係者他：25名 教育関係者他：51名	8,055

	国名	地域	学校名	備考
1	ベトナム	クアンナム省	ソンヴァン小学校ゾックキエン分校	エルセラーン1% クラブ
2			プラオ小学校アジン第3分校	
3			チューオム小学校	アジアの子供たちに学校をつくる議員の会、日本財団
4			レド小学校	日本財団
5			クアンチュン中学校	
6			アーダウ小学校	
7			ティエンカン小学校第六村分校	
8			レロイ小学校	袋井市ワンコイン 実行委員会
9		クアンチ省	パタン小学校サトゥオン分校	エルセラーン1% クラブ
10		トゥエンクアン省	スアंकアン小学校ナトイ分校	日本財団
11			フンタン小学校デオテー分校	
12			チュンホア小学校ソイチン分校	
13		ドンナイ省	グエンチータイン小学校	アースバンク、銀河G、ディアーズブレイン他
14			ヴィンタン小学校	日本財団
15		タイニン省	スオイダーA小学校タンディン第2分校	日本財団
16		チャビン省	ロントイB小学校ディンフータン分校	エルセラーン1% クラブ
17		コントウム省	ダックログ中学校（寮）	日本財団、草の根資金
18	ラオス	サラワン県	ニュー小学校	ダイリキ(株)
19			ハンプー小学校	太田道寛
20			ブオンナム幼稚園	高橋保子
21			ビエンカム中学校	イートアンド(株)
(25)			サラワン教員養成短期大学・台所食堂	谷川裕ほか
22		チャンパサック県	フアパコー小学校	国際学校建設支援協会
23	ノンテノイ幼稚園			
24	タイ	チェンマイ県	ファイコン中学校	福島県いわき生徒 会長サミット